

北米

増強してきた生産能力を活かして、 旺盛な缶材需要を獲得



事業環境認識

強み (Strengths)

缶材事業

- 世界一の生産性
- 長年にわたる製缶メーカーとの関係
- 原料における高いスクラップ材比率を活かしたコスト競争力

- 日本・タイの拠点からの供給力
- 自動車材事業
- 新興EVメーカーとの関係
- 部品を製品化するまでの一貫開発力

弱み (Weaknesses)

缶材事業

- 缶材に特化した事業展開

自動車材事業

- 大手自動車メーカーなどの取引

機会 (Opportunities)

缶材事業

- 年率約3%増の需要伸長
- 他エリアよりも高度に成長した市場環境（価格、用途拡大への期待値）
- 脱プラスチック化を背景とした

- 缶材需要の伸長
- 競合企業の缶材から自動車材への生産シフト
- 自動車材事業
- 環境規制による自動車軽量化・EV化ニーズの拡大

脅威 (Threats)

缶材事業

- 新規参入および貿易政策の変化による安価な輸入材の増加

自動車材事業

- 他素材との競合
- 新規参入企業の増加

2019年度の概況

北米において主要商材である缶材は、需要が引き続き堅調に推移しており、また自動車軽量化ニーズの拡大を背景とした他のアルミニウムメーカーの自動車材への生産シフトの動きもあって、需給状況が非常にタイトになっています。こうした市場環境であるため、北米の主要拠点であるTAA^{*1}の缶材販売は堅調に推移しています。また、新冷間圧延ラインの立ち上げまでの casting 能力の余剰を活かして、缶材用の地金を製造し、販売しました。加えて、増設したスクラップ・リサイクル炉の活用による製造コストの削減効果もあり、TAAでは経常利益が前年度比24億円増と大幅に増加しました。

※1 Tri-Arrows Aluminum Inc.

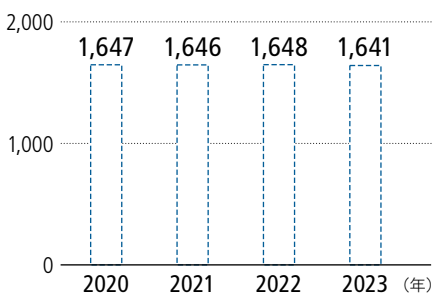
今後の見通し

缶材については、コロナ禍における家庭内の飲料消費が増え、需要は供給が追い付かないほど堅調であると予想されています。また、米国の一部地域にて、アルミニウム缶入りのミネラルウォーターが発売されるなど、ペットボトルからの代替需要も見込まれます。TAAは、2020年に完了した増強投資による設備をフル稼働させ、販売量の増加を図るとともに、長期契約更新による数量確保、価格改定を実現させ、さらなる増益を目指します。

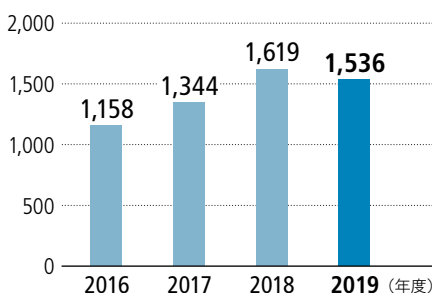
自動車材は、UWH^{*2}においてコロナ禍でも新興EVメーカーからの発注が早期に回復しつつあります。また、2022年から量産化する車種の需要獲得に向けた準備も進めています。北米の自動車軽量化による需要は底堅く、今後も成長市場として見込めることから、パネル材の動向も注視しながら、積極的に関与していきます。

※2 UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

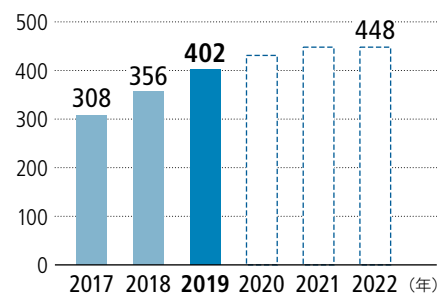
缶材消費量(米国)の予測 (千t)



売上高(北米)の推移 (億円)



TAAの年間販売量の推移と予測 (千t)



出典: CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook May 2018